

日新ニユース

シネスコ版

No. 375

36. 3. 24

腕、終結、勲章、第組、一島、吹

一、初の室内陸上選手権

ローマ五輪のゴールド・メダリスト、棒高跳のドン・ブラッグ(アメリカ)、五千米のマレー・ハルバーク(ニュージーランド)、二百米のリビオ・ベルッチ(イタリア)の三選手を招待した日本で初の室内陸上競技大会は三月十八、十九日の両日、東京体育館で行われました。

五〇米に出場したベルッチは二百米が専門といわれるだけにスタート・ダッシュがによく、それでもゴール前では伸びのあるスプリントを見せました。三千米のハルバークは、ラゲビーで不自由になった左腕を巻き込む様にして走る特異なフォームながら確実なペース配分で日本選手を問題にせず室内史上第三位の記録で優勝をかざりました。

注目の棒高跳びはターザンの異名を持つブラッグが四米三〇から七〇迄一回目でクリヤーする豪快な跳びを見せたあと、四米八四と大きくバーを上げ世界新記録に挑戦、これは惜しくも不成功に終わりましたが外人選手が出場した種目では陸上競技が、今や力の競技であり、日本選手との体力の差をはつきりと示しました。

一、日光薬師堂焼く

栃木

三月十五日夜七時半頃、日光東照宮境内の重要文化財薬師堂内部から出火。さいわい、陽明門など国宝建造物への延焼はくいとめたものの、鳴き竜で名高い薬師堂は外郭を残しただけで焼け落ちてしまったのです。原因は職員の残り火の不仕末とみられていますが、責任の所在をめぐって、所有者である東照宮と管理者の輪王寺が対立する有様。防火施設が完備していただけに、この火事は全く惜しまれ、徳川家光が建立した薬師堂は、鳴き竜とともに、その復元すら危ぶまれています。

一、相つぐ筑豊の惨事

福岡

七十一人の犠牲者を出した上清炭鉱と同じ筑豊の大辻炭鉱で三月十六日コンプレッサ附近から出火。調査のため入坑した瓜生所長ら二十六人が消息を絶ちました。救助隊による必死の救出作業も満了したガスによつてはかどらず、排気坑道の密閉作業も困難を極めました。肉親の無事を祈る家族たちの叫びも空しく、事故発生から四日たった十九日の午後二時、坑口から僅か五百メートルの地点で河野探検課長の遺体を収容、二十四人全員の死亡が確認され、ヤマは悲嘆の涙にぐれるばかりです。石炭不況を企業の合理化によつて切掛けようとするあまり、保安がおろそかになっているものとみられ、石炭企業の在り方に大きな問題を投げかけています。

一、念ぶつ経営学

札幌・岩手・名古屋・京都

大連忌で賑う京都の西本願寺。御仏の功德とあつて受付には買物やお布施が続々と持ち込まれ、まさに親鸞聖人さまさまです。新興宗教に押されきみの昨今、しにせが打つた起死回生のコマーション・ペースともいえますよ。

こちら札幌では、本堂の地下を解放しての即席パーティ。またダンス・ホールを経営しての所得倍増計画とすさまじい商魂をみせています。名古屋では五階建のオテラ・ハウスがお目見えしました。二階から五階までがアパート。一階は床屋や食堂である有様です。まさに木魚片手に念仏商法もまんざらではありません。また岩手県花巻市の小川和尚さんは、身の上相談を開くかわら、銀行も経営するという頭取住職、とは言え、貧しい人々に無担保、無利子で貸付けているのです。民生委員もしている和尚さんの温かい慈愛と融資で立派な店舗を構えたブリキ屋さんもいます。今様良寛さまと呼ばれながら、人助けの行脚を今日も続けているのです。

道新 No. 124
高野 No. 210
新報 No. 38
平口 No. 14

674 217 200 900 133